

次世代アントレプレナー育成事業 (EDGE-NEXT)

受講生の活躍紹介 (記載は令和4年6月時点)

名古屋大学

岐阜大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学

Tokai-EDGE (Tongali)

本人略歴

- 2020年4月 名古屋大学大学院工学研究科博士課程進学
 - 2022年3月 合同会社青山大岳設立
- 【主な受賞歴】 NEDO TCP 2020 審査員特別賞 (2021年3月)

事業概要

弊社ではVRヘッドセットを用いたレーザー保護めがねの開発に従事しています。レーザー保護めがねはレーザー光から目を保護するための安全具ですが、着用すると逆にレーザースポットが見えなくなる特性を持っています。この特性のために、ほとんどの作業者が安全に対する不安を抱えており、弊社ではこの問題を名古屋大学のVR技術を用いて解決していきます。

〈現在社会に与えているインパクト・成果〉

- 本事業は名古屋大学発の技術に支えられており、発案者である犬飼自身が日ごろから感じていたペインポイントを解決すべく創出したものである。このようなバックグラウンドからその妥当性や将来性を認められ、本年度NEDO Entrepreneur Program type-Bに採択された（採択内定額3000万円）。
- 基盤となる知的財産を事業に活用するため、名古屋市内の国際特許事務所にインターンシップに伺い、知的財産戦略を学んだ。受け入れ先の事務所はTongaliの協力を受けて紹介をいただき、本事業実施にあたりコア技術となる知的財産を、犬飼自身が筆を執って特許出願した。
- これらの本事業に関する詳細は数々の助成金採択やコンテスト受賞を受け、2022年4月23日付の読売新聞（地方版）に特集記事として掲載を受けた。

<https://www.yomiuri.co.jp/local/chubu/feature/CO056072/20220423-OYTAT50014/>

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- 私は2018年度に名古屋大学卓越大学院プログラムの第1期生として入構し、その教育プログラムにおいて大学の研究成果の社会実装を図るため、チームビルディングとプロトタイプ作製を実施していた。その過程でTongaliビジコンに出場し（Fig.2）、Tongaliの教育プログラム受講に至った。
- 昨年度TongaliがJSTから採択を受けていた拠点都市環境整備型大学推進型SCOREプログラムにおいて、本事業アイデアも採択テーマの一つとして助成を受けた。Fig.3はその助成プロジェクトの成果として得られたプロトタイプであり、設計段階で獲得した知的財産を学生が主たる発明者として特許出願した。



Fig.1:メンバー写真(右が犬飼)



Fig.2: Tongaliビジコン出場時



Fig.3: 開発中のプロトタイプ

ホームページ <https://mems.me.tut.ac.jp>

本人 略歴

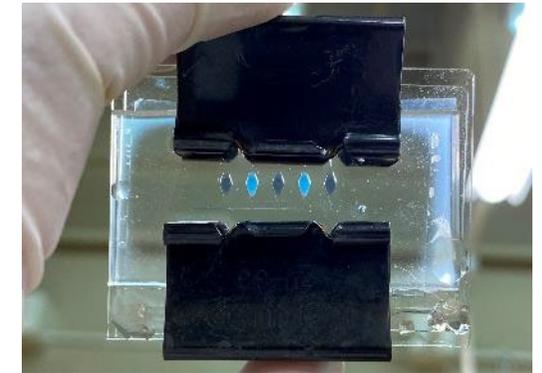
- 2016年3月 大阪府立高専卒業
- 2016年4月 豊橋技術科学大学編入学 現在に至る
マイクロ・ナノ機械システム研究室にて、事業化に向けて検査キットの開発中

事業 概要

- 受託事業：各種感染症検査、農産物の病害検査
- 迅速簡便安価な診断デバイスの開発・販売(予定)



遺伝子検査デバイス写真



〈現在社会に与えているインパクト・成果〉 または 〈今後のビジョン〉

- 新型コロナウイルスの検査機関に認定されている東京慈恵会医科大学にて検証済
現在のPCR検査で問題となっている時間がかかる、費用が高い、専門スキルが必要、などの問題を全て解決する検査方法、検査デバイスとして高く評価され、社会実装を望まれている。
- JA協力の下、農産物の病害虫検査の現地実証実験を行い、その有用性を確認済
病害の検査にはコストと時間を要するため、ニーズはあるものの現在は行われていなく、目視による判断がほとんどであり、かなり多くの農産物が廃棄されることになり、それが収量低下、食品ロスに繋がっている。
- 2025年開催大阪万博にて、混乱の無い検査体制、検査デバイスの実現を目指す

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- 強み発見ワークショップ／自己改革ワークショップ
自分の弱みを受け入れたり、自分を見つめ直すことで、将来ビジョンを思い描くことができた。これにより、起業も将来の選択肢として検討するようになった。
- アントレプレナーシップ実践講座：本質的な社会課題を捉える素地が養われた。
- 個別相談／メンタリングルーム利用
個別コーチングによって、課題設定、目的・目標の明確化、成果を意識した活動ができるようになった。



スマホアプリ
による感染
症検査結
果例

ジークス株式会社（設立2019年）

取締役COO 村上巴紀さん

ホームページ <https://www.gecs.tech/>

本人 略歴

- 1999年生まれ 愛知県豊橋市出身
 - 2018年 名古屋工業大学入学 現在、修士1年在学中
 - 2019年9月に合同会社ジークス（現：ジークス株式会社）を共同創業
- 【主な受賞歴】 Tongaliビジネスコンテスト Tongali賞4位(2020年)

事業 概要

- 現役小児科医監修の子育て医療アプリ「あんよ」の開発・運営
- Deep Learningに関する受託開発

〈現在社会に与えているインパクト・成果〉 または 〈今後のビジョン〉

2019年の創業時にDeep Learningに関する受託事業を開始し、2021年に医療事業へ事業領域を変更。同年2月から、愛知県を中心に20以上の産科・小児科クリニックを運営する医療法人葵鐘会と実証実験を開始し、同年9月に小児医療アプリ「あんよ」をリリース。2022年5月時点で、1歳未満のお子さんを持つ月間アクティブユーザーは約2,000名、累計ユーザーは8,000名を超えている。また、東海、関西、関東を中心に約70件の産婦人科・小児科クリニックが「加盟クリニック」としてアプリに賛同いただき、医者を通じた患者さんへのアプリ配布を行っている。2022年3月にEast Venturesらから4,300万円の資金調達を実施。現在のアプリでは、新生児・乳児期のお子さんを持つ親御さんから小児科医へよく寄せられる質問をQ&A形式で約260件を収録。また、現役小児科医へ一問一答形式で質問できる機能も搭載。今後は、地域のクリニックの予約や診療と紐付けて、子育て世代へより包括的な医療サポートを実現していく。

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- アントレプレナー育成塾(アントレ塾) - 学部1～3年

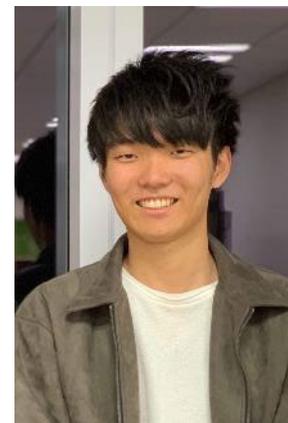
起業家などをゲストとして招いて開催する学生向けセミナー。学部1～2年時は参加者として、3年時は企画&司会を務めた。このプログラムを通じて得た人脈は現在でも続いている。

- Second UP - 学部1～2年

3日間でビジネスプランを考案し、最終日にプレゼンを行うイベント。ビジネスプランを考える上での、根本的な考え方を審査員や講師陣から学ぶことができた。

コンソ名称 Tokai-EDGE (Tongali)

所属大学 名古屋工業大学



▶ コーポレートロゴ



▶ サービスロゴ



▶ 名古屋大学・名古屋工業大学発ベンチャーの称号を取得。名古屋大学内のインキュベーション施設内に開発拠点を新設(2022年5月)。

FiberCraze株式会社（設立2021年9月22日）

代表取締役社長 長曽我部 竣也さん

コンソ名称 Tokai-EDGE (Tongali)

所属大学 岐阜大学

ホームページ <https://www.fibercraze.com/>

本人 略歴

1997年愛知県一宮市生まれ。自身が研究に従事した世界初技術の可能性に惹かれ、仲間とともに製品化を始める。大学院在学中の2021年9月、23歳でFiberCraze株式会社を創業。

【主な受賞歴】 Tongaliビジネスプランコンテスト3位・3社企業賞(2019年)

キャンパスベンチャーグランプリ全国大会 文部科学大臣賞・テクノロジー大賞(2021年)

事業 概要

- 防虫・保湿・抗ウイルス等の機能を持つ繊維の研究開発・販売
- 液体吸着・分離等の機能を持つ機能性多孔質フィルムの研究開発・販売
- 繊維素材サンプル、フィルム素材サンプルの販売



 Fiber Craze



〈現在社会に与えているインパクト・成果〉 または 〈今後のビジョン〉

- 世界初技術を用いたマイクロプラスチック問題の解決
主軸事業分野である繊維業界において、抗菌・抗ウイルスや撥水などの機能化を施す加工技術は発展を続けています。近年、「マイクロカプセル」という、薬剤や香料をカプセル化させたものを素材表面に付着させる機能化技術が世界中で話題になっていますが、そのカプセル剤にはプラスチックが使われており、それが海洋に流れることでマイクロプラスチック問題へ繋がっているという課題があります。
弊社の技術は、「素材そのものにナノサイズの“あな”を空け、そこに機能剤を閉じ込める」という全く新しいアプローチにより、環境に配慮した高機能素材を開発しています。
- 「あなを通してつくるミライを覗く」というビジョンのもと、高機能素材を多分野に展開することで産業課題の解決や、生活の発展を担う素材のインフラを目指します。

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- 大学3年次に大学の先生から紹介され、Tongaliプロジェクトを受講しました。当時ビジネスの知識は全くなかったですが、座学やワークショップを通して基礎から学びました。特に現役の経営者による講演会では、自分と年が近い方がスタートアップの社長として活躍されている姿を見て、衝撃を受けました。
- 大学4年次に研究を始めた世界初の技術に大きな可能性を感じ、これを事業化させてまだ世の中にない高機能な素材を生み出したいと感じました。まずはTongaliのビジネスコンテストでプランを発表し、賞を頂いたことをきっかけに仲間とともに事業化をスタートさせ、2021年に法人化しました。



学生団体FORTUNE（起業前段階。令和3年度から活動中）

小野可鈴さん

ホームページ <https://www.fortune-ht.com/>

本人 略歴

- 現代社会が抱える課題に対応したオンライン家庭教師サービスをビジネス化しようと、学生6名が集まり、令和3年5月に学生団体FORTUNEを結成。
- 結成後は、EDGE-NEXTのメンター指導を受け、壁打ちや仮説検証等を通してビジネスアイデアのブラッシュアップを行い、現在は地域社会と学生を繋ぐ場を提供するビジネスを展開しようと取組中。

事業 概要

- ヴィジョン“人生を切り開く大学生を育むこと”を達成するため、“大学生がやりたいことを実現できる環境を作ること”をミッションとする。
- やりたいことを見つけるには主体的なトライが大切であるとの見解から、トライに必要な同じ目標を持つ仲間とアウトプットの場を学生に提供する。プログラミングや動画編集からなる、スキルアップ系のグループ、また、地元観光協会やレジャー施設でのイベント企画やSNS代行など地域活性化事業からなる合計10個のグループで構成される。

〈現在社会に与えているインパクト・成果〉 または 〈今後のビジョン〉

- 結成から1年で22名のメンバーが加入。SNSのフォロワーなどを合計すると1,000名以上にのぼり、徐々に団体の存在が浸透している。メンバーへのアンケート調査では、“リーダーシップ”・“提案力”などが磨かれ、企業との関わりもありながら、主体的に活動できているとの回答が得られた。本団体の今後の取組みを通して、起業家精神を持った学生が増えることも期待できる。
- まずは、三重大学と三重県内の大学への周知、団体加入者の増加を目標とし、やがては県外大学へと波及させていく。他大学での弊団体と同様の活動生の再現性を高めるため、組織体制の強化、ビジョンの浸透、マニュアル作成に力を入れる。並行して、ビジネスを継続・発展させるための最適な運営体制（法人化）を検討していく。

〈EDGE-NEXT受講プログラム・活動内容・取組成果・与えた影響等〉

- 令和元年度EDGE-NEXTプログラム「三重大学・東ワシントン大学アントレプレナーシップセミナー」の受講者であり、Module0の同セミナーでアントレの基礎を学び、現在の起業実践への活動に繋がっている。
- 令和3年度EDGE-NEXTプログラム「学生アイデアブラッシュアップ支援」に申請し、審査会を経て採択された。採択後は、起業に向けた活動助成（同プログラム推進スタッフによる月1回の面談のメンター支援等）を受け、ビジネスアイデアのブラッシュアップを行った。元々本団体の持っていた目的を変えることなく、その目的を達成するための手段をメンターと学生と一緒に考え、現在の事業計画・内容に至った。
- 令和3年度EDGE-NEXTプログラム「DemoDay交流会」へ参加し、企業経営者等に向けてビジネスアイデアのプレゼンテーションを行った。発表後のディスカッション・意見交換では、企業経営者等からビジネスの実現に向けての助言を受け、今後のビジネス連携のきっかけを作ることができた。

コンソ名称 Tokai-EDGE (Tongali)

所属大学 三重大学

メンバー写真



ビジネス検討のための参加学生との ディスカッション



EDGE-NEXTプログラムにおける メンターとの面談

